

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の型に研究の参加を拒否するけんりが保障されております。(オプトアウト)  
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2020年9月9日
研究期間	2023年3月31日 まで
研究の名称	大腸癌肝転移における後方視的予後解析
研究対象	2015年1月1日から2016年12月31日までに、当院において大腸癌肝転移に対して肝切除術を施行した症例
対象材料	診療記録
対象期間	2020年8月 ～ 2023年3月
研究の目的意義	<p>大腸癌肝転移のうち肝切除を施行した症例において、無再発生存期間および全生存期間に関する予後因子の同定を行うことを目的としています。</p> <p>本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の第5章の第12の1の(2)「自らの研究機関において保有している既存試料・情報を用いて研究を実施しようとする場合のインフォームド・コンセント」のイ“人体から取得された試料を用いない研究”に該当し、研究対象者からインフォームド・コンセントを受けることを必ずしも要しないと判断される。研究の実施について、以下の情報をホームページに掲載(HPアドレス：<a href="http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/gesurg/">http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/gesurg/</a>)することで研究対象者等に通知し、又は公開し、研究対象者が参加することを拒否できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む)</li><li>②利用し、または提供する情報</li><li>③利用する者の範囲</li><li>④情報の管理について責任を有する者の氏名または名称</li><li>⑤研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること</li><li>⑥⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法</li></ol>
方法	患者基本情報(性別、生年月日等)、原発巣総合情報、原発巣病理情報、原発巣術後補助化学療法情報、肝転移診断時情報、肝転移切除前治療情報、肝転移化学療法前情報、肝転移手術前情報、肝転移手術情報、肝転移巣病理情報、肝切除後補助療法情報、予後情報などを診療記録で収集します。生存期間、無再発生存期間に関する因子を検討します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはありません。
問い合わせ先	市立豊中病院 外科 能浦 真吾 TEL 06-6843-0101